

# あなたと 青山学院



地の塩、世の光  
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

30万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

2011. SUMMER No.6

## 今号の聖句

どうか、主があなたを助けて 足がよろめかないようにし まどろむことなく見守ってくださるように。  
He will not let your foot be moved; he who keeps you will not slumber.

詩編 第121編3節

## 復興のために青山学院ができること

東日本大震災の被災者の皆さまと東京電力福島第一原子力発電所の事故によって今なお、不安な避難生活を余儀なくされている皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地の復興と平安をお祈りいたします。

### 東日本大震災の被災地に向けた支援

3月11日(金)、宮城県三陸沖で巨大地震が発生、大津波が沿岸地域を襲い、甚大な被害をもたらしました。さらに、福島の原子力発電所では地震と津波に端を発した重大事故が発生し、日本はかつて経験したことのない危機的状況に陥り、いまだにその影響を受けています。本学院では、地震発生当日に一般の帰宅困難者の受け入れを行い、翌日以降、在学生の安否確認を大学・女子短期大学が中心となって行いました。また、伊藤定良大学学長を委員長とする「緊急支援対

策委員会」を設置し、被災により影響を受けた在学生や新入生に対しての2011年度授業料減免等による特別措置(経済支援)を講じるなど、さまざまな取り組みを行ってきました。

さらに、本大学の学生たちの間では、募金活動に加え、参考書や約3,000組のルーブリーノートなどの物資の提供、被災地での医療スタッフの移送や機材運搬の運転担当のボランティア活動などそれぞれの立場で支援活動を展開しています。

### ボランティア・ステーションの設置

今後の東北復興に向けた取り組みとして、本学院では、引き続き、災害などの被災地支援を行う一方で、本大学の学生のボランティア活動を支援する組織として、5月10日(火)、ボランティア・ステーションを設置しました。ここでは被災地のボランティア情報の提供や共有、ボランティア活動の企画・参加、さらに参加時の心得などを、研修を通して学ぶなど、さまざまな活動を行っていきます。

また、現在活動している学生ボランティア組織の活動を尊重しつつ相互に情報を共有し、連携を図っていきます。ボランティアに興味のある学生や、活動への参加を考えているが、どのようにかかわったらよいか分からない学生たちに対しては、経験豊富な教員がボランティアに関する基礎知識や、留意点などを教授します。こうしたボランティア・ステーションの活動を核として長期にわたる復興支援を行っていきます。

### 東北学院大学を拠点とした支援

3月22日(火)～26日(土)、国際政治経済学研究科の塚本俊也プロジェクト教授、大学宗教部長で教育人間科学部の伊藤悟教授が東北学院大学を訪問し、被災状況の把握と復興に向けた今後の協力体制の確立および、被災地域への救援物資補給中継基地としての東北学院大学の施設利用交渉などを行いました。あわせて、多賀城市の防災対策について、行政を交えての話し合いなどを行い、救援物資を提供しました。

4月4日(月)～6日(水)、塚本教授が中心となり、本大学の学生5名と東北学院大学の学生たちが避難所や児童館を訪問しました。有志企業から提供いただいた物資を届け、子どもたちのこころのケアにあたりました。



多賀城市の避難所を訪問

### 学生ボランティア活動のためのセミナー

4月27日(水)、今後ボランティア活動にかかわってほしいという学生を主な対象として、被災者の心の支援についてのセミナーを開催しました。今後も複数回行われる予定で、第1回は「災害支援ボランティア活動とメンタルケア」をテーマに、米国カリフォルニア州認定臨床心理士のジョセフ・ポール・小沢氏をお招きし、ボランティア活動参加者の自己管理やメンタルケアが重要であることや、精神的外傷を受けた被災者とかかわる際の留意点などについて、分かりやすく講義していただきました。



ジョセフ・ポール・小沢氏(右)と通訳のシュー士戸 ポール文学部准教授(左)



講義風景

### 大学間連携によるボランティア活動ワークショップ開催

5月27日(金)、東北学院大学の土樋キャンパスの会議室で、首都圏と関西圏の10大学が参加して河北新報社、仙台市社会福祉協議会の協力のもと、単体の大学では成し得ないボランティア活動の形態を大学間連携で行い、その枠組みを協議することを趣旨として今後のボランティア活動についての積極的な意見交換が行われました。

本大学からは、国際政治経済学研究科の塚本俊也プロジェクト教授がボランティア・ステーションの立ち上げと夏期休業中の学生ボランティア派遣の計画について報告しました。また、荻原渉君(法学部3年)と江刺香奈さん(国際政治経済学部3年)が参加して他大学学生と情報交換を行いました。

#### ○参加大学:

青山学院大学、関西学院大学、立命館大学、名古屋学院大学、中部大学、中央大学、明治学院大学、麗澤大学、桜美林大学、東北学院大学

## 本大学の就学キャンパス再配置年度にも影響

震災は遠く離れた本学院にも大きな影響を与えました。大学が2012年度に予定していた、青山キャンパスへの教育課程の移行を1年間延期させることとなりました。これは現在進行中の新校舎(大学17号館)の建設が震災の影響を受け、スケジュールに遅れが生じたためで、今後は2013年度の移行に向けて万全の準備を進めていくこととなります。

## CONTENTS

学校法人	復興のために青山学院ができること	1
学校法人	校友会会長あいさつ・今号の聖句	2
学校法人	青学ニュース	3
校友会	支部ニュース	6
校友会	アイビーグループニュース	8
校友会	部会・同窓会ニュース	10

校友会	第4期校友会役員体制	12
学校法人	Useful Information	13
学校法人	青学探訪「資料センター」	14
学校法人	青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会	校友会本部	16